

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月 6日更新

事務事業名		新型コロナウイルス感染症予防接種事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	6	健康づくりの推進		所属課	健康ほけん課
	業務分野	23	地域医療体制の充実		所属班	健康づくり班 (内線) 1182
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 11797 法令根拠
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 2 ~ 6 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	新型コロナウイルス感染症の発生状況に対処するため、予防接種法及び検疫法の一部が令和2年12月9日より改正され、予防接種の実施体制整備が実施主体である市町村に課せられた。令和2年から速やかに市民に対する接種ができるよう接種実施にあたり予算措置をし体制整備を行い、特例臨時接種として令和3年5月からワクチン接種を開始した。令和6年度から、新型コロナウイルス感染症は予防接種法のB類疾病に位置付けられ、10月から定期接種として65歳以上及び60~64歳で一定の基礎疾患を有するものを対象とし実施することになった。令和7年度から(10380)感染症予防事業と統合する。
【業務の流れ】	郡市医師会(医療機関)との契約事務、予診票・接種済票の印刷、委託料の支払い事務、接種台帳管理・電算入力等の事務処理。委託医療機関外で接種された分の補助金交付事務。特例臨時接種時に健康被害認定を受けた市民への健康被害救済給付。
【主な予算費目】	報酬、職員手当、報償費、旅費、需用費(印刷製本費)、委託料(個別接種)、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

菊池郡市医師会西部例会で新型コロナウイルス感染症予防接種についての説明を実施し、広報やホームページで市民への周知を行った。10月から3月までワクチン接種を実施した。

【接種実績】1,910人

【基準に達しなかった理由】 予算要求時には接種者数をインフルエンザ接種者数程度を見込んでいたが、見込みより少なかったため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

令和6年度から新型コロナワクチン接種はB類疾病の定期予防接種となった。次年度の接種費用等の詳細が不明のため、令和6年度と同等と見込んでいるが、国からの接種費用の補助金については未定である。接種単価及び自己負担額は菊池管内保健協議会を通して、菊池郡市医師会と協議し決定予定。次年度から【10380】感染症予防事業と統合する。

③予算の主な増減の理由

【10380】感染症予防事業に統合するための減

成果指標	(単位)	データ取得方法
接種者数	件	

(2)成果指標・総事業費の推移	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	件	56,184	10,717	8,470	1,910	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円	292,548	132,950	2,638	1,187			
	都道府県支出金	千円			75				
	地方債	千円							
	その他	千円	83			15,853			
	繰入金	千円							
(A)事業費計	千円	48,449	34,259	164	20,034	0	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

定期予防接種(B類疾病)となり、接種がスムーズに実施できるよう医療機関と協力している。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)